

## 「島根県広域避難計画」の問題点

2022.9.24

島根県は、2012年11月「島根県広域避難計画」（2022年3月一部修正）を策定した。その後、2020年12月に島根県原子力安全顧問会議において原子力防災の専門家から意見を聴くとする「避難対策小会議」が設置された。

2021年12月には、上記の「避難対策小会議」の結果を踏まえ「島根原子力発電所2号機の安全性等に係る島根県原子力安全顧問の意見」として取りまとめて公表している。

表題に掲げた「島根県広域避難計画」の問題点における主要な問題点は下記のとおりであると私は考えています。

### 問題点（1）

- ・島根県原子力安全顧問会議は、新潟県の技術委員会とは全く異なり、各顧問の専門分野から幅広い意見を聴くことを目的としており意見の収斂は行わないこととしている。そのため顧問の意見、助言及び指摘事項が島根県策定の避難計画に適切に反映されているのか大いに疑問である。

### 問題点（2）

- ・「避難対策小会議」の会議議事録（4回開催）が1年以上未公開であった。（第1回を除く）公開されたのは2022年3月31日である。（以前より公開要求していた）  
その結果、2021年12月に公表された「島根原子力発電所2号機の安全性等に係る島根原子力安全顧問の意見」が県民、市民が「避難対策小会議」の議事内容を確認できない状態にて取りまとめ公表された。会議議事録の公開が遅くなったのは島根県の都合のいいようにまとめるために意図的であったと考えられる。

### 問題点（3）

- ・第1回避難対策小会議において野口顧問が、防災計画を詰めていくには「今何ができていて、何がまだできていない」ということを明確にしてそれを住民に示すことが重要であると提示されているが、島根県にはその意志はなく「県から開示することはない」としている。  
（上記の「県から開示することはない」に関して2022年2月22日に開示しないのであればこちらから資料提示するのでそれに回答する形で、島根県との打合せにより資料-1「避難計画の成績表」を作成）

### 問題点（4）

- ・2021年12月に取りまとめられた「島根原子力発電所2号機の安全性等に係る島根

(まとめ・提案事項)

松江市

- 1) 島根県は「島根県広域避難計画」(2022年3月一部修正)を策定しましたが、その計画概要を地域住民に説明する意志がなく「県から開示することはない」としています。よって資料-1及び資料-2における問題点を皆様各自で得意分野をピックアップして検討を加えて、県に対応を求めることを提案したいと思います。
- 2) 「避難対策小会議」における防災対策、避難対策としての、テーマ毎の検討項目は各地域で原発に関する住民説明会等を実施した中において出た意見を参考に設定しているために検討項目に偏りがあります。もっと広範囲での問題点及び検討項目を皆様各自で提起して、県に対応を求めることを提案したいと思います。
- 3) 現段階における「島根県広域避難計画」は、避難計画の対面的な形はできたが中身についてはこれから検討を行う状況であります。上記の提案等を通して県にプレッシャーを与えて避難計画の不備を追求していくことにより、裁判における勝利を得ることができるのではないかと考えています。

(まとめ・提案事項)

松江市

- 1) 島根県は「島根県広域避難計画」(2022年3月一部修正)を策定しましたが、その計画概要を地域住民に説明する意志がなく「県から開示することはない」としています。よって資料-1及び資料-2における問題点を皆様各自で得意分野をピックアップして検討を加えて、県に対応を求めることを提案したいと思います。
- 2) 「避難対策小会議」における防災対策、避難対策としての、テーマ毎の検討項目は各地域で原発に関する住民説明会等を実施した中において出た意見を参考に設定しているために検討項目に偏りがあります。もっと広範囲での問題点及び検討項目を皆様各自で提起して、県に対応を求めることを提案したいと思います。
- 3) 現段階における「島根県広域避難計画」は、避難計画の対面的な形はできたが中身についてはこれから検討を行う状況であります。上記の提案等を通して県にプレッシャーを与えて避難計画の不備を追求していくことにより、裁判における勝利を得ることができるのではないかと考えています。